ELECOM

USBタイプ/PS2タイプ共通 ホイール付きマウス ドライバ&ユーティリティ

ユーザーズマニュアル

■はじめに

このユーザーズマニュアルでは、「ホイール付きマウス」および「5ボタンマウス」に対応した当社のWindows版オリジナルドライバの使用方法について説明しています。ホイール付きマウスは、Windows標準ドライバでも使用できますが、オリジナルドライバをインストールすることで、さらにホイール機能を充実させることができます。また、5ボタンマウスではオリジナルドライバをインストールすることで、(+-) ボタンに動作を割り当てることができます。

ご使用になる前に、このユーザーズマニュアルをよくお読みになり、正しくセットアップを 実行してください。

■もくじ

導入の手順フロー ・・・・・・・・・・・・・・・・・2
 ドライバとユーティリティの概要 ·······3 おもな機能と動作環境·····3 注意事項について····4
 ドライバをインストールする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 オリジナル機能を利用する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 自由設定モードを利用する・・・・・・21 ボタンやホイールに動作を割り当てる・・・・・21 ショートカットキーを設定する・・・・・・23 ジェスチャー機能を設定する・・・・・25 リストにないアプリケーションを登録する・・・・・27
 5. 付録

導入の手順フロー

ドライバのダウンロードが必要な場合は、当社のホームページの「ダウンロード」→「マ ウス」にある「ドライバ」をダウンロードします。ご使用になっているマウスの型番に対 応したファイルをダウンロードしてください。



ドライバとユーティリティの概要

エレコムのオリジナルドライバの概要について説明します。

おもな機能と動作環境

おもな機能

●マウスのホイールやボタンの活用率が大幅アップ!⇒P20

オリジナルドライバを利用することで、Windows標準ドライバに比べ、ホイー ルなどを幅広く活用できます。初心者にお勧めな「おまかせモード」から、ホイー ルやボタンの動作を自由に割り当てることのできる「自由設定モード」までお好 みに合わせて選択できます。

●ホイールで利用できるいろいろなアクション⇒P21

ホイールには、前後に回すというアクション以外に、[Shift]または[Ctrl]キーを 押しながら回す、ホイールをクリックする、さらにホイールを押しながら回すな どのアクションが可能で、それぞれに動作を割り当てることができます。

●標準ドライバよりも豊富なアプリケーションで利用可能な 「おまかせモード」→P20

「おまかせモード」では、ホイールやボタンに最適だと思われる動作があらかじ め割り当てられています。また、Windows標準では対応していないアプリケー ションでも、ホイールやボタンの機能を利用することができます。

●ホイールやボタンのアクションにお好みの動作を割り当て可能⇒P21

「自由設定モード」を利用すると、ホイールやボタンごとにさまざまな動作を割 り当てることができます。これらの動作は全アプリケーション共通になるように 設定できるほか、アプリケーションごと(最大35個)に異なる動作を割り当てるこ ともできます。

●マウスを動かすだけでショートカットを実行できる 「ジェスチャー機能」 → P25

ホイールやボタンのアクションとマウスの上下左右の移動を組み合わせること で、それぞれの動作にショートカットを割り当てることができます。例えば、 WEBブラウザを使用するとき、ホイールを押しながらマウスを左へ動かすと「戻 る」、右へ動かすと「進む」などの動作を割り当てることができます。

動作環境

マウスを接続するポートによって対応するOSが異なります。

USBマウスの場合	USBポートを搭載したWindowsマシンで、 Windows XP/Me/98/2000が動作するもの ※Windows 95/NT 4.0では使用できません。
PS/2マウスの場合	PS/2ポートを搭載したWindowsマシンで、 Windows XP/Me/98/95/2000/NT 4.0が動作するもの ※Windows NT 4.0はService Pack 3.0以降に対応



Windows標準以外のマウス用ドライバとの共存、その他の入力デバイスのド ライバとの共存では、正常に動作しない場合があります。



製品に添付または当社のホームページよりダウンロードしたプログラムを実行 してドライバをインストールします。ドライバをインストールするとエレコム ホ イールユーティリティ2も同時にインストールされます。

●はじめてエレコム オリジナルドライバをインストールする場合

このあとの「インストールの前に」をお読みになったあと、P8「オリジナルド ライバをインストールする」へ進みます。

●旧バージョンのエレコム オリジナルドライバを使用している場合

このあとの「インストールの前に」をお読みになったあと、P6「旧オリジナル ドライバをアンインストールする」へ進んで旧ドライバを削除します。そのあと で、P8「オリジナルドライバをインストールする」へ進みます。

注意事項について

- ●他社製のマウスドライバを使用している場合は、必ずアンインストールしてく ださい。
- ●タッチパッドやその他の入力デバイスのドライバと当社のドライバを併用する と不具合が生じることがあります。不具合が発生した場合は、タッチパッドな どのドライバをアンインストールしてください。アンインストール方法につい ては入力デバイス用ドライバおよびユーティリティのマニュアルを参照してい ただくか、ユーティリティの供給元にご確認ください。
- ●当社の旧バージョンのオリジナルドライバをご使用の場合は、旧ドライバを アンインストールしてから、新しいドライバをインストールしてください。 P6「旧オリジナルドライバをアンインストール」をお読みください。
- ●USBマウスの場合は、当社のオリジナルドライバをインストールする前に、 Windows標準のドライバを必ずインストールしてください。インストール方 法については、製品に添付されている説明書をお読みください。
- ●ホイールユーティリティ2を終了している場合(タスクトレイの「エレコム マウ スマネージャ」アイコンを右クリックし、「終了」を選択)は、Windows標準の ドライバと同じ機能になります。

インストールの前に

●旧バージョンのオリジナルドライバについて

旧バージョンのエレコム オリジナルドライバを使用中の場合は、新しいドライバ をインストールする前に、このあとの「旧オリジナルドライバをアンインストー ルする」をお読みになり、先に旧ドライバを削除してください。

●USBマウスをご利用の場合

オリジナルドライバをインストールする前に、マウスに添付されたマニュアルを お読みになり、Windows標準のドライバをインストールしておいてください。

●マウスの接続方法について

マウスをコンピュータ本体などに接続する方法は、マウスに添付されたマニュア ルをお読みください。

●5ボタンマウスについて

5ボタンマウスについては、Windows標準ドライバでは(+ -)ボタンを使用 できませんので、必ず製品に添付されたディスクにあるオリジナルドライバを インストールしてください。

旧オリジナルドライバをアンインストールする アンインストール作業が必要なのは、当社の旧オリジナルドライバを使用し

ている場合だけです。

当社の旧オリジナルドライバを使用している場合は、はじめに、旧オリジナルド ライバをアンインストールします。なお、画面例はおもにWindows XPを使用し ていますが、他のOSでもほぼ同じ内容です。

ドライバをアンインストールする場合、Windows XPでは「アカウントの種類」 が「コンピュータ管理者」に設定されているアカウントでログインしてください。 Windows 2000/NT 4.0ではAdministrator権限でログインしてください。



【1 [スタート]ボタン→[コントロールパネル]を選択します。





注意

2 [コントロールパネル]にある[プログラム(またはアプリケーション)の追加と削 除]を選択します。



※画面はカテゴリ表示の 例です。 Windows XP/Melt. ウィンドウの表示方法 が2種類あります。 どちらの表示方法でも 選択できます。

・Windows XPでは[プログラムの追加と削除]、他のOSでは[アプリケーション の追加と削除]と表記されています。

3	[フロクラムの追加と削除]にめる「エレコムホイール ユーティリティ」を選択し、 変更と削除 ボタンまたは 追加と削除 ボタンをクリックします。
	はたりクラムの近知と削除 ●●● アビアション 現在インストールされているプログラム 並べ替える> アビアション 現在インストールされているプログラム 並べ替える> アビアション パイパーレールでしているプログラム 並べ替える> アビアション パイパーレールでしているプログラム 並べ替える> アビアション パイパーレール ユーディジア・ アビアション パイパーレーー・ ユーディジア・ アビアション ビア・ パイパーレーー・ アビアション ビア・ 日前日金 アビアション このカログラムを変更したり、コンピュークが必須登したりするには、(変更と消除) をかっつしてにただい、 更更と推測を
	・Windows XP以外は、ボタン名が <mark>追加と削除</mark> ボタンになります。
4	アンインストールの実行を確認する画面が表示されますので、 [実行] ボタンをク リックします。
	エレコム ホイール ユーティザティ のアンインストール I レコム ホイール ユーティザティのアンインストール I レコム ホイール ユーティザティのアンインストール アインフトール アインフトール アンインストール アンシーン アンス・ アンシーン アンシーン アンシーン アン アン アン
注意	「ユーザー設定を残す」 のチェックボックスをオンにしても、「ホイールユーティ リティ」 の設定を 「ホイールユーティリティ2」 に引き継ぐことはできません。
5	しばらくすると、アンインストールが完了しますので、「終了」ボタンをクリック します。
	アンインストールが除了しました。 アンインストールが除了しました。 アンインストール状況 正常終了しました 正常終了しました クリック
6	ご使用のOSによっては、再起動するようにメッセージが表示されます。メッセージが表示された場合は、再起動してください。

2



7 これで旧オリジナルドライバのアンインストールは完了です。続いて新しいオリ ジナルドライバをインストールします。このあとの「オリジナルドライバをイン ストールする へ進みます。



USBマウスをご使用の場合

- ●USBマウスをご使用の場合で、コンピュータにWindows標準のドライバが インストールされていないときは、再起動後に標準ドライバをインストール するための画面が表示されます。マウスに添付されているマニュアルをお読 みになり、先に標準ドライバをインストールしてください。
- ●一度、標準ドライバをインストールしている場合は、インストール画面は表 示されず、標準ドライバによりマウスを使用することができます。

オリジナルドライバをインストールする

エレコムオリジナルドライバをインストールする方法について説明します。

USBマウスをご使用の場合

USBマウスをご使用の場合で、コンピュータにWindows標準のドライバが インストールされていないときは、本製品をコンピュータに接続した状態で Windowsを起動すると、自動的にWindows標準のドライバのインストール が始まります。マウスに添付されているマニュアルをお読みになり、先に標準 ドライバをインストールしてください。

1 製品にドライバディスクが添付されている場合はディスクを用意します。ダウン ロードが必要な場合は、当社のホームページからドライバファイルをダウンロー ドしておきます。

・製品に添付されている場合は、ディスクをドライブにセットします。 ・ダウンロード先は http://www.elecom.co.ip/support/download です。 ダウンロードしたファイルは任意の場所に置きます。



2マウスを接続した状態でコンピュータの電源を入れて、Windowsを起動します。

Windows XPでは、「アカウントの種類」が「コンピュータ管理者」に設定さ れているアカウントでログインしてください。Windows 2000/NT 4.0では Administrator権限でログインしてください。

3 ディスクの場合はディスクの内容を開き、「setup(.exe)」をダブルクリックし ます。ダウンロードした場合は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックし ます。









5 ファイルの解凍が終わり、インストールウィザードの画面が表示されますので、 次へボタンをクリックします。



6 インストール先を指定します。通常は変更する必要はありませんので、そのまま 次へ ボタンをクリックします。

InstallShield Wizard	
インストール先の選択 セットアップパファイルをインストールするフォルタを選択してください。	AN A
セットアッフりよ、次のフォルタリこ エレコム ホイールユーティリティ 2 をインストールします。	
このフォルダへのインストールは、โ欠へコボタンをワリックします。	
別のフォルダヘインストールする場合は、「参照〕ホタンをワリックしてフォルタを選択してください。	
C#Program Files#ELECOM#WheeIUtility2	参照(B)
Test=P2 MidH	
(夏5(B) (「次への)」	400m -
. インフト―――牛友亦再」たい担合け	关昭 -
「イノストールルを友史したい場白は	、『多照』
ださい。	

7

プログラムフォルダを指定します。通常は変更する必要はありませんので、その まま 次へ ボタンをクリックします。

InstallShield Wizard	
プログラム フォルダクの選択 フログラム フォルグを選択してくださし、	X
セットアッフトは、次コリストされているフロクラム フォルタイニフロクラム アイコンを追加します。新し、ロフォルタ名を か、または数年のフォルタ リストから「つを違訳することもできます。 フロクラム フォルダビス	入力する
ビレンスペイールシューティリティ2 既存のフルイン(2) デタンコナリリ	
えるエトアップ 管理シール	
InstalSheld 〈戻る⑮)	101211

・プログラムフォルダ名を変更したいときは、新しい名称を入力してください。





10 ご使用のOSによっては、再起動するようにメッセージが表示されます。 はい ボタンをクリックして再起動します。メッセージが表示されないOSでは、手動 でWindowsを再起動します。

11 これでドライバのインストールは完了です。

このあとは

次ページの「オリジナル機能を利用する」以降をお読みになり、お好みの設定 をしてください。



エレコム オリジナルドライバをインストールすると、Windows標準のドライバ に比べて、多彩な機能(ホイールユーティリティ2)が利用できるようになります。

・オリジナルドライバを使うには ⇒次の「オリジナルドライバを使うには」へ

- ・基本設定タブの説明 ⇒P14へ
- ·詳細設定タブの説明 ⇒P19へ
- ·詳細設定タブの自由設定モードの使い方 →P21へ

オリジナルドライバを使うには

オリジナルドライバをインストールすると、Windows 画面の右下にあるタスクトレイに「エレコム マウスマ ネージャ」のアイコンが表示されるようになります。 ※アイコンを表示しないようにすることもできます (→P16「アイコン表示」)。



マウスのプロパティ画面を表示する

オリジナルドライバの機能(ホイールユーティリティ2)を設定するには、マウスのプロパティ画面を表示する必要があります。



Windows画面の右下にあるタスクトレイの「エレコム マウスマネージャ」アイ コンをダブルクリックすると、プロパティ画面が表示されます。



MENO アイコンが表示されていない場合は

[スタート]ボタン→[(すべての)プログラム]→[エレコム ホイールユーティリ ティ2]にある[ホイールユーティリティ マネージャ]を選択すると、タスクトレ イにアイコンが表示されます。ただし、【基本設定】タブでタスクトレイにアイ コンを表示しないように設定している場合は(→P16)、コントロールパネルに ある[マウス]アイコンをダブルクリックします。 2 【基本設定】タブと【詳細設定】タブがオリジナルドライバにより追加されたタ ブです。その他のタブはWindows標準のマウスの設定タブです。



- オリジナルドライバにより 追加されたタブ





MEMO 設定を変更したとき

[マウスのプロパティ]にある各項目の設定を変更した場合は、必ず OK ボ タンをクリックして設定を保存してください。 適用 ボタンをクリックした場 合は、その時点までの変更内容が保存され、引き続き[マウスのプロパティ]の設 定ができます。

基本設定 タブ

【基本設定】タブではホイールを使用したときの動作、マウスアイコンの表示、 設定の保存、トラブルシューティングなどを見ることなどができます。

マウスのプロパティ			? 🛛
ポタン ハードウェア	ポインタ ポ	インタオプション 定	ホイール ③ 詳細設定
- ホイールスクロール:	マック (1000000000000000000000000000000000000	2移動 コール(フォーカス移動 (フォーカス移動有り) (フォーカス移動無し)	が無し)(E) (C) (M)
アイコン表示	-イニアイコンを表示する(21	
19979920932 酸定値の保 化が行えま られます)。	ルシューティング 存/復元1ボタンをクリック すり、シックアッププログラム	すると、この設定値の を起動するとこの画面	21保存/復元/初期 面は自動的に閉じ
トラフルショ リティが導入 ブルシューラ	・ティンクオイトが多少。 されている環境であるー 「イング方法について記載)	シリッシュ ると、昭在 ティリティが正しく動作 したガイドが表示され	観イリ人ユーティ しない場合のトラ ます。
54	<i>iブルシューティングガイ</i> ド	·@ 設定値の	保存/復元(S)
エレコム ホイールユー	・ティリティ 2 - Copyright	(C) 2002-2003 ELEC	COM CO.,LTD.
	ОК	++v/tz/l	· 適用(<u>A</u>)

ホイールスクロール対象ウィンドウとフォーカス移動

ひとつのウィンドウに複数のスクロールバーがある場合や複数のウィンドウが 開いている場合に、ホイールを回すことでどのウィンドウをスクロールし、どの ウィンドウにフォーカスを移すかを設定します。



●フォーカスのあるウィンドウがスクロール(フォーカス移動無し)

ホイールを回すと、フォーカスのあるウィンドウがスクロールします。下図のようにポインタが「B」のウィンドウにある場合でも、フォーカスのある「A」の ウィンドウがスクロールします。



●カーソル下ウィンドウがスクロール(フォーカス移動有り)

ホイールを回すと、マウスポインタの下にあるウィンドウにフォーカスが移り、 そのウィンドウがスクロールします。上図のようにポインタが「B」のウィンド ウにあるときは、「B」のウィンドウにフォーカスが移り、スクロールします。

●カーソル下ウィンドウがスクロール(フォーカス移動無し)

ホイールを回すと、マウスポインタの下にあるウィンドウがスクロールします。 フォーカスは移動しません。下図では、フォーカスは「C」のウィンドウにあり ますが、マウスポインタは「D」のウィンドウにあるため、「D」のウィンドウが スクロールします。



3. オリジナル機能を利用する

アイコン表示

アイコン表示 「 タスクトレイにアイコンを表示するの)

このチェックボックスをオンにすると、タスクトレイにマウスのアイコンが表示 されます。このアイコンをダブルクリックすることで、マウスのプロパティを開 くことができます。このチェックボックスをオフにしたときは、[コントロールパ ネル]の[マウス]アイコンをダブルクリックする必要があります。

トラブルシューティングと設定のバックアップ

- バックアップとトラブルシューティング
Shata).
トラブルシューティングガイドブボタンをクリックすると、他社製マウスユーティ
ブルシューティング方法について記載したガイドが表示されます。
トラブルシューティングガイド(G) 設定値の保存/復元(S)

● トラブルシューティングガイド ボタン

他社製マウスのドライバ(ユーティリティ)がインストールされている環境でエレ コムのオリジナルドライバ(ホイールユーティリティ2)が正しく動作しない場合 にこのボタンをクリックします。トラブルシューティングガイドが表示されます。

オリジナルドライバの機能は、マウスのプロパティの中の【基本設定】タブと 【詳細設定】タブの内容だけです。

● 設定値の保存/復元 ボタン

【基本設定】タブおよび【詳細設定】タブの設定内容をバックアップファイルに 保存することができます。バックアップファイルに保存しておくと、その後間違 って設定を変更しても、元の設定値をバックアップファイルから読み込むことが できます。また、オリジナルドライバ(ホイールユーティリティ2)を再インストー ルした場合は、設定が自動的にバックアップファイルから読み込まれます。また、 設定値をすべて初期値に戻すこともできます。保存と復元の方法については、次 の「設定値の保存と復元方法」をお読みください。

設定値の保存と復元方法

[設定値の保存/復元] ボタンをクリックすると、実行する内容を選択する画面が表示されます。

▶ ELECOMホイールユーティリティ2 設定値パックアップ	×
設定値の保存/復元	2
コントロールドネルで観察したドネイールコーディジティ21の設定値をジャクアップファイルトに保存 したし、パップアップファイルから設定値を提示でできます。 ・ (数字値の保存(9)) 「ボイールユーティリティ200歳空値をジャクアップファイルに保存します。ユーティル ディのボイノストールは300 「ボイールユーティリティ200歳空値をジャクアップファイルを知って見たします。 () パップアップファイルの新聞(20)ます。「ボイールユーディリティ21両インストール純の設 変価が新聞信におります。	
○ 設定値の対理化① 「オイールユーティリティ2」の設定値参加期値に戻します。アプリケーション毎の設定 ヤジェスチャー設定も加期化されます。	
<前へ(2) 次へ(2)> キャン	tzik

設定値の保存と復元の画面は、[スタート]ボタン→[(すべての)プログラム]→[エ レコム ホイールユーティリティ2]にある[設定値のバックアップ]を選択して表示 することもできます。

※フォルダ名称を変更している場合は、変更したフォルダにあります。

●設定値の保存

【基本設定】タブと【詳細設定】タブの設定内容をバックアップファイルに保存 します。

①「設定値の保存」を選択し、次へ ボタンをクリックします。

②設定値の保存を確認する画面が表示されますので、OK ボタンをクリックします。

③バックアップファイルが作成されたことを知らせるメッセージが表示されますので、**OK** ボタンをクリックします。これで設定値の保存は完了です。

●設定値の復元

バックアップファイルから設定値を読み込みます。

①「設定値の復元」を選択し、次へ ボタンをクリックします。

②設定値の復元を確認する画面が表示されますので、 OK ボタンをクリックします。

③設定値がバックアップファイルの内容に復元されたことを知らせるメッセージ が表示されますので、 **OK** ボタンをクリックします。これで設定値の復元は 完了です。

●バックアップファイルの削除

バックアップファイルを削除します。

①「バックアップファイルの削除」を選択し、次へ ボタンをクリックします。 ②バックアップファイルの削除を確認する画面が表示されますので、**OK**ボ タンをクリックします。

③バックアップファイルが削除されたことを知らせるメッセージが表示されます ので、 OK ボタンをクリックします。これでバックアップファイルの削除は 完了です。

●設定値の初期化

【基本設定】タブと【詳細設定】タブの設定を初期値に戻します。【詳細設定】 タブの「アプリケーション毎設定」やジェスチャー設定も初期化されますのでご 注意ください。

① [設定値の初期化] を選択し、次へ ボタンをクリックします。

②設定値の初期化を確認する画面が表示されますので、 OK ボタンをクリック します。

※「バックアップを残しておく」について

このチェックボックスをオンにすると、現在の設定値をバックアップファイルとして 保存してから初期化します。このファイルを利用することで初期化後に現在の設定に 戻すことができます。

③設定値が初期化されたことを知らせるメッセージが表示されますので、 **OK** ボタンをクリックします。これで設定値の初期化は完了です。

詳細設定 タブ

【詳細設定】タブは、ボタンおよびホイールにどのような機能を割り当てて使用 するかを設定するタブです。「基本動作モード」でお好みのモードを選択します。



ホイール/ボタンの動作モードを

自由設定モードを選択した場合に 各ボタンとホイールのアクションに

各ボタンとホイールに割り当てる動作について 標準または最適を選んだ場合のスクロール行数を指定します。 「標準」の設定は「標準(Office互換)モード」などで、 「最適」の設定は「おまかせモード」などで使用されます。

基本動作モードごとの機能について

●標準(Office互換)モード

Windowsが標準でサポートしているホイール付きマウスの動作が各ボタンや ホイールに割り当てられています。Office互換の動作とは、Microsoft Officeな どを使用する場合に割り当てられたWindows標準の動作です。Microsoft OfficeやMicrosoft Internet ExplorerなどWindowsがサポートしているアプリ ケーションでだけ、各ボタンやホイールが使用できます。

●おまかせモード

標準モードでは対応していないアプリケーションでもマウスを快適に利用できる ように、各ボタンやホイールに最適な動作が割り当てられています。

参考			
標準(Office互換)モード よびホイールに割り当て	とおまかせモードは、あらカ られています。	かじめ決められた動作が各ボ	タンま
	標準(Office互換)モード	おまかせモード	
+ボタン※	Office互換	クリック	
ーボタン※	Office互換	クリック	
ホイール	Office互換	スクロール	
ホイール+Shift	Office互換	スクロール	
ホイール+Ctrl	Office互換	スクロール	
ホイール押し回し	なし	スクロール	
ホイールをクリック	Office互換	なし	

※+ボタンと-ボタンは、5ボタンマウスで有効な動作です。

Office互換の動作とは、Microsoft Officeなどを使用する場合に割り当てられた Windows標準の動作です。各ボタンやホイールが使用できるのは、Microsoft Office やMicrosoft Internet ExplorerなどWindowsがサポートしているアプリケーション でだけです。

●自由設定モード

各ボタンやホイールに自由に動作を割り当てることができます。自由設定モード は2種類あり、ひとつは全アプリケーション共通で同じ動作に割り当てる方法で す。もうひとつは、アプリケーションごとに別々の動作を割り当てる方法です。 特定のアプリケーションに特化して使用する環境などに便利です。例えばホイー ル+Shift/Ctrl/押し回し/クリックのアクションにカット、コピー、ペーストな ど関連した動作を割り当てることで効率のよい作業環境を実現できます。さらに 「ジェスチャー機能(→P25)」と組み合わせると、より快適な作業環境を実現で きます。

標準/最適のスクロール行数

各ボタンとホイールに割り当てる動作について、標準または最適を選んだ場合の スクロール行数を指定します。「標準」の設定は「標準(Office互換)モード」で、 「最適」の設定は「おまかせモード」で使用されます。また、自由設定でも「標 準(Office互換) または「最適(スクロール)」を選択した場合に使用されます。

標準/最適のスクロール行数 行数(E) 3 - C ページ単位(G)-

ページ単位のチェックボックスをオンに するとページ単位でスクロールします。



自由設定モードでは、ボタンおよびホイールのアクションにお好みの動作を割り 当てることができます。さらに、動作の割り当ては全アプリケーション共通かア プリケーションごとに設定するかを選択できます。このあとの説明を順番にお読 みいただくだけで簡単に設定できます。

ボタンやホイールに動作を割り当てる

ボタンおよびホイールに動作を割り当てます。(+-)ボタンの設定ができるの は5ボタンマウスだけです。

- MEMの アプリケーションごとに設定する場合でも、すべてのアプリケーションを設定す る必要はありません。特別な動作を割り当てたいアプリケーションの動作だけを 設定します。リストに登録されているアプリケーションには、エレコムお勧めの 設定が割り当てられています。また、リストに登録しなかったアプリケーション は、「おまかせモード」と同じ動作で機能するように設定されています。
- 自由設定モードには、全アプリケーション共通とアプリケーションごとの2種類 がありますのでいずれかを選択します。「自由設定モード(全アプリケーション共 通)」を選択した場合は、このあと手順 3 へ進みます。





「自由設定モード(アプリケーション毎設定)」を選択している場合は、リストか ら設定するアプリケーション名を選択します。



MEMの リストの中に対象となるアプリケーションが見あたらない場合は、アプリケー ションを登録する必要があります。P27「リストにないアプリケーションを登 録する | をお読みください。



3 動作を割り当てたいアクションの ▼ をクリックし、リストから動作を選択しま す。アクションによって割り当て可能な動作が異なります。



● 「ホイール+Ctrl」は、「Ctrl] キーを押しながらホイールを回す操作です。「ホ イール+Shift」は[Shift] キーを押しながらホイールを回す操作です。

●以下の動作の機能は次のとおりです。

ハンドカーソル スクロール	カーソルが手マークに変化します。マウスのホイールを押し続け た状態で前後左右に移動するだけで、ウィンドウが上下左右にス クロールします。
ショートカットキー	アクションを起こすと、そのアクションに割り当てられたショー トカットキーのコマンドが実行されます。設定方法については、 P23「ショートカットキーを設定する」をお読みください。
ジェスチャー	「ホイールをクリック」および (+ -) ボタンで設定可能です。 ホイールまたはボタンを押しながら、マウスを前後左右に移動す ると、割り当てられた操作が実行されます。設定方法については、 P25「ジェスチャー機能を設定する」をお読みください。

「ホイール押し回し」と「ホイールをクリック」の両方に動作を割り当てるこ とはできません。どちらか一方になります。



●このあとは・・・

「自由設定モード(全アプリケーション共通)」を選択している場合 ➡手順 6 へ 「自由設定モード(アプリケーション毎設定)」を選択している場合 →手順 5 へ 5 「自由設定モード(アプリケーション毎設定)」を選択している場合は、ひとつの アプリケーションのアクションに動作を割り当てたら、次のアプリケーションを 選択して、同じように設定します。 ここで全体の基本動作(モード)を選択してください。







・適用ボタンをクリックするとプロパティを閉じずに設定を保存できます。

7 これでボタンおよびホイールへの動作の割り当ては完了です。

ショートカットキーを設定する

ボタンおよびホイールのアクションによっては、ショートカットキーを登録する ことができます。例えば5ボタンマウスの場合、-ボタンをクリックするとコピー ([Ctrl]+[C])、+ボタンをクリックするとペースト([Ctrl]+[V])といった操作が できるようになります。

MEMの「ホイール+Ctrl」には [Ctrl]キーを使うショートカットキーが登録できます。 「ホイール+Shift」には [Shift]キーを使うショートカットキーが登録できます。



ボタン ここで全体の基本動作(モ・ 基本動作モード(①) 自	-ド)を選択してください。 自設定モード(アプリケーション毎設定) ▼		
Microsoft Word 対象アプリケーション(C)	▼ 名称変更(B) 登録(D) 削除(D)		
(生成の) 能力(1) ホイール	+ボタン(P) ショートカットキー ジョートカットキー		クリック
h	- 示久ノ(M) 標準(Office互換) <u>設定</u>]	



「シフトキー」の「Ctrlキー」を選択し、 次に「キー」の「V」を選択します。

・ホイールの場合、クリック以外のアクションでは、上回転と下回転で別々の ショートカットキーを設定できます。ホイールのクリック、(+ -) ボタンは ひとつしか設定できません。

3 これでショートカットキーが登録できました。

ジェスチャー機能を設定する

「ジェスチャー機能」は、ホイールをクリックおよび(+ -) ボタンで設定でき ます。ホイールまたはボタンを押しながら、マウスを前後左右に移動すると、 割り当てられた動作が実行されます。登録できる個数(エントリ)はホイールをク リック、+ボタン、-ボタンでそれぞれ50個までです。











3 [ジェスチャー設定]画面が表示されます。未使用のエントリ番号を選択し、「登録 名1 に適当なエントリ名を入力します。



 ・内容がわかるような名称を入力します。登録した内容は他のアクションのジェ スチャー設定でも使用することができます。



マウスの移動方向ごとに動作を割り当てます。



MEMの 上下左右の各アクションには、ショットカットキーを割り当てることもできま す。リストで「ショートカットキー」を選択すると、右側の 設定 ボタンが有 効になりますので、P23「ショートカットキーを設定する」を参考に割り当て てください。

クリック



OK

6 これでジェスチャー設定は完了です。 ジェスチャー読定 - [ホイールボタン] ポシンを押しながらマウスカーソルを上下左右に動かすことにより、その方向毎に 別のアクションを実行することができます。



 「ジェスチャー設定]画面を開くと、新しく登録したエントリ名がリストに表示 されます。

リストにないアプリケーションを登録する

対象アプリケーションのリストにないアプリケーションを登録します。追加でき るアプリケーションの残り数は画面に表示されます。

- MEM アプリケーションごとに設定する場合でも、すべてのアプリケーションを登録 する必要はありません。特別な動作を割り当てたいアプリケーションの動作だ けを登録します。リストに登録しなかったアプリケーションは、「おまかせモー ドレと同じ動作で機能するように設定されています。
- マウスのプロパティを表示した状態で、登録したいアプリケーションを起動し ます。

登録 ボタンをクリックします。 2





3 [アプリケーション登録]画面が表示されますので、リストに表示されたアプリケー ションを選択します。



 必要に応じて「登録アプリケーション名」を修正します。 **最新の情報に更新** ボタンをクリックすると、[アプリケーションの登録]画面を 表示したあとに起動したアプリケーション名が表示されます。







【詳細設定】タブの 名称変更 ボタンをクリックすると、登録済みのアプリケー MEMO ションの名称を変更できます。また、削除 ボタンをクリックすると、登録済 みのアプリケーションを削除することができます。

-

オリジナルドライバをアンインストールする

エレコム オリジナルドライバをアンインストールしたい場合は、P6 「旧ドライ バをアンインストールする」と同じ手順で削除できます。「プログラムの追加と削 除]または[アプリケーションの追加と削除]で「エレコム ホイールユーティリティ 2) を選択して、削除を実行してください。この作業をすることでドライバとユー ティリティが削除されます。

トラブルシューティング

マウスまたはマウスのホイール/ボタンが正常に動作しない場合にお読みください。

MEMの 当社のホームページにもマウスに関するFAQがありますのでご参考ください。 URL=http://www.elecom.co.jp/support/

■マウスのカーソルがコントロールできません(暴走します)。

●複数のマウス用ドライバやユーティリティが競合している可能性があります。

➡本製品以外のマウス用ドライバやユーティリティがコンピュータに導入されて いないか確認してください。ドライバやユーティリティが競合を起こしている 場合は、本製品以外のドライバおよびユーティリティをアンインストールする ことにより本製品が正常に動作する可能性があます。アンインストール方法に ついてはマウス用ドライバおよびユーティリティのマニュアルを参照していた だくか、ユーティリティの供給元にご確認ください。

■ホイールが使用できません。【Windows® 95/NT 4.0】

●パソコンのBIOSの設定に問題がある可能性があります。

- ◆タッチパッドなど内蔵ポインティングデバイスを「無効」に設定しないとホイール部分が使用できない場合があります。BIOS設定方法についてはお使いのコンピュータのメーカにお問い合わせください。
- タッチパッドなど、他社製マウスユーティリティが導入されている環境で本 ユーティリティが正しく動作しない場合、他社製専用マウスデバイスドライバ をWindows標準のPS/2マウスデバイスドライバに置き換える事によって、問 題を緩和できることがあります。詳しくは、[スタート]ボタン→[(すべての)プ ログラム]→[エレコム ホイールユーティリティ2]にある[トラブルシューティン グガイド]を参照してください。

※インストール時にフォルダ名を変更している場合は、そのフォルダを開いてください。

■ホイールが使用できません。【Windows[®] 98/Me/2000/XP】

- ●お客様のコンピュータには、すでに他社製マウス用ドライバやユーティリティ が導入されており、ドライバやユーティリティが競合している可能性があり ます。
- ➡ドライバやユーティリティが競合を起こしている場合は、本製品以外のドライ バやユーティリティをアンインストールすることにより本製品が正常に動作す る可能性があります。アンインストール方法についてはマウス用ドライバおよ びユーティリティのマニュアルを参照していただくか、ユーティリティの供給 元にご確認ください。

■マニュアルに書かれているように設定しても、ホイールユーティリティの特殊機能(左右スクロールなど)が使用できません。

- ●本製品以外のマウス用ドライバやユーティリティがコンピュータに導入されて いないか確認してください。
- ▶本製品以外のマウス用ドライバやユーティリティをアンインストールすることにより正常に動作する可能性があります。アンインストール方法についてはマウス用ドライバおよびユーティリティのマニュアルを参照していただくか、ユーティリティの供給元にご確認ください。

- ●本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- ●このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- ●このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- ●このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ●このマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、 弊社エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。
- ●本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。日本国外での使用による結果について弊社は一切の責任を負いません。また、本製品について海外での保守、サポートはおこなっておりません。
- ●エレコム、ELECOMはエレコム株式会社の登録商標です。
- ●Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および™は省略させていただきました。

USBタイプ/PS2タイプ共通 ホイール付きマウス ドライバ&ユーティリティ ユーザーズマニュアル 2003年5月12日 第1版 W-WU2-1

ELECOM